

【附属病院ホームページでの掲載用原稿】

研究課題名「当院における限局性前立腺癌に対する高線量率組織内照射の治療成績の検討」

受付番号: 1861

倫理審査承認日: 平成 26 年 6 月 24 日

川崎医科大学附属病院で、外照射併用高線量率組織内照射を受けられた前立腺癌の患者様へお知らせです。

「当院における限局性前立腺癌に対する高線量率組織内照射の治療成績の検討」のため、当教室では、1997年8月1日以降に川崎医科大学附属病院放射線科(治療)で外照射併用高線量率組織内照射を受けられた前立腺癌患者さんを対象に、治療成績を調査しています。

限局性前立腺癌とは、転移がなく前立腺内にもみ腫瘍が存在すると判断された初発の前立腺癌を指します。限局性前立腺癌の治療法は、放射線治療以外に外科治療、内分泌療法、待機療法などがあり、標準的な治療法として放射線治療が選択されることが多くなりました。治療成績についても外科治療に劣らず、良好な結果が得られています。前立腺癌に対する放射線治療も、従来の外照射や高線量率組織内照射以外にも、低線量率組織内照射(密封小線源治療永久挿入治療法)度変調放射線治療(IMRT)などがあり、適応があれば、いずれも良好な成績が得られています。

当教室では川崎医科大学泌尿器科学教室と協力し、1997年より限局性前立腺癌に対して従来の外照射+高線量率組織内照射を開始しました。当院での治療数は1000例を超えており、本邦でも有数の施設になりました。これらの膨大なデータは、本邦における限局性前立腺癌の治療法の確立に大きな一助となると期待しています。

本研究は川崎医科大学倫理委員会の承認を得て実施され、その結果は学会演題や学術論文として発表する予定です。本研究は、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、治療をさせていただいた患者様の個人情報からわからない状態で解析しています。従って、患者様の個人情報が外部に漏れる心配は全くありませんが、本研究の対象となる患者様で御自身に関するデータが本研究に使用されることを望まれない場合、それを拒否することができます。データの使用を拒否される方は、御手数ではございますが、下記まで御連絡いただきますようお願いいたします。なお、拒否したからといって、患者様に不利益が生じることは一切ございません。

最後に、本研究は企業などから資金は提供されておらず、利益相反はございません。

この他、何か御不明な点がございましたら、いつでも御相談ください。

本研究についてのお問い合わせ:

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577 川崎医科大学
放射線医学(治療) 臨床助教 神谷 伸彦 / 小西 圭

Tel:086-462-1111(代) / FAX:086-464-1199